

## 英新法：違法の内容をネット掲載した市民は投獄

社会メディアの内容が“差別”や“反同性愛”とみなされたユーザーは禁固刑

【訳者注】イギリスでは、ついに、こういうことになった。人種や社会的マイノリティに対する差別をなくす、というのは表看板で、本音は、ここで言っている「政治的に正しくない」発言や意見の弾圧である。この politically (in)correct という、奇怪な言葉の意味が、私には長いことわからなかったが、ここ数年来、手に取るように明瞭になった。これは、あの暗黒集団に都合のよい（悪い）、という意味である。我々がここでよく引用紹介する、長期間、献身的に（彼らを援助する団体はない）、悪の根源を摘発し、これをわかるように説明してくれるようなウェブサイトが、一番の弾圧の対象のようである。それを（我々のように）引用したり、コメントするだけで同罪らしい。彼らが「憎しみを含む」内容と言っているのは、**批判的な**内容という意味である。中でも悪質なのは、「知的に敏感な」impressionable 聴衆に訴えようとするサイトだと言っているから、我々のこのサイトは、最も悪質ということになる。（我々は、単なる憎しみをもって論じたことは一度もない。）

これに呼応するように、つい先日、Google から、「この度、新しいプライバシー基準を設けて、5月25日(?)から実施することになった」という内容の通知が配信されてきた。その背景に何があるのかについては、「数千のグーグル従業員が“深層国家”をめぐる問題で退職の構え、メディアは報道管制」<http://www.neonnettle.com/news/4198-thousands-of-google-employees-threaten-to-quit-over-deep-state-media-blackout> をご覧いただきたい。

Daniel Newton, NeonNettle

May 16, 2018



英国で導入されたオーウェル流新法により、社会メディアで“違法”とみなされる内容をネット上に掲載し英市民は、投獄されることになった。

この新法にもかかわらず、暴力犯罪の率は、昨年一年で 44%も増えた。しかし政府はオンラインのトロール（インターネット荒らし）を処罰することに、全力を集中する予定だと言っている。

社会メディアの掲載内容が“人種差別”とか“反ゲイ運動”とか考えられる場合、利用者は、昨日、提案された厳しい新ルールの下で、投獄されることになる。

少数グループへの、人種的、宗教的、性的な憎しみを煽っていると判断される者たちに対し、裁判官や行政官の厳しい処罰が勧告されている。

社会メディアを利用する者が、その結果を知らないで“ヘイト・スピーチ”を、コメントしたりシェアしたりしても、裁定評議会からの提案に従って、投獄されることがある。

Informationliberation.com はこう報じている：——“ヘイト・トローリング”とは、「政治的に正しくない (politically incorrect)」事実をシェアする（広める）という意味である。

<http://www.informationliberation.com/?id=58374>

英国をコントロールしている、キチガイじみた左翼集団は、右翼が、そのような“ヘイト”を掲載するだけでなく、それを単にコメントしたり、シェアするだけでも、6か月の禁固刑を要求している。誰でも、人の生命を脅かしたり、広く散布されるような、ヘイト・スピーチをつくり出す者は、3年の禁固を覚悟しなければならない。

その言葉や材料が憎しみを含むと判断されたが、命を脅かしたとか、多くの聴衆を得たとか考えられない場合でも、禁固1年の処罰を食う可能性がある。

この裁定評議会の提案では、最も深刻なヘイトの犯罪に含まれるものは、公的な人物が、憎しみを煽る目的で行うスピーチ、また、人種や宗教グループに対する暴力を示唆するオンライン内容、それに長期にわたって、世界的な聴衆に対し、暴言的、侮辱的材料を発表しているウェブサイトである。

悪質なファクターとは、“特に敏感な社会的風土での”活動や、敏感に反応する聴衆に向けられた活動である。

多層的な社会メディアの場を利用することも、また、より深刻（悪辣）な犯行となる。

ジョージ・オーウェルが、もしこのような考えを『1984年』の中に取り入れたとしたら、嗤われたことであろう。しかし、今それが我々の間で起こっている。

忘れないでいただきたいが、ほんの1世紀前には、大英帝国はまだ世界を支配していた。彼らの帝国は、「日の沈まない帝国」と呼ばれた。

現在、英国は、逆植民地化されていて、彼らの政府は“犯罪的な”社会メディアの記事を、シェアしたりコメントしたりする人々を、監獄に入れようと必死になっている。

——以上